

周南 渡り鳥ナベヅル 北帰行へ

渡り鳥のナベヅル18羽が3月24日、周南市八代地区から飛び立ちました。卵を産んで育てる場所であるロシアのシベリアに飛んでいくとみられます。

場所です。そのため八代地区に渡ってきます。今季は昨年11月の終わりにやってきました。

ナベヅルを見守る周南市の施設によると、24日午前8時20分に、親子とみられる3羽が田んぼから西方面へ飛び立ちました。その後、次々に飛んでいったそうです。春になると日本より北にあるシベリアなどへ渡り鳥が帰っていくことを「北帰行」といいます。

ナベヅルは冬にシベリアの厳しい寒さをのがれ、暖かい



北帰行したとみられるナベヅルの群(む)れ
(中国新聞の読者提供)

中国新聞 SELECT 2020. 4. 2

問題1 渡り鳥のナベヅルは、どこからどこへ飛んでいくとみられますか。記事の中からさがしてみましよう。

「から」 「に飛んでいくとみられる」

問題2 「北帰行」の説明をしよつと思ひます。記事の中からさがして説明してみましよう。

「北帰行」とは 「つと」

問題3 ナベヅルのように秋に日本にわたってきて、冬を過ぎす渡り鳥のことを「冬鳥」と呼びます。反対に、春になると日本にわたってきて、夏を過ぎす渡り鳥のことを「夏鳥」と呼びます。まち中でも、お家のき下などに巣を作っているのを見かける「夏鳥」がいます。何よつと鳥でしよつ。

「」

親子チャレンジ

日本では多くの渡り鳥を見ることが出来ます。海岸や川、林、まち中でも見かけます。どのような種類の渡り鳥がいるか調べてみましよう。渡りのちがいで分けてみてくだつ。

- ・冬鳥主にロシアなど北方の国から秋にわたつてきて冬を過ぎす鳥。
- ・夏鳥主に南半球の国から春にわたつてきて夏を過ぎす鳥。
- ・旅鳥日本に来るのを目的としないで、中継地として日本に立ち寄る鳥。